

ナウマン通信



2022年
1月17日発行
第30号

大阪市立我孫子南中学校

忘れない



1995年、1月17日午前5時46分。6434人の尊い命が犠牲になった阪神淡路大震災の発生から27年が経ちました。改めて追悼の意を表するとともに犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします。

みなさんはもちろん生まれていなかった時代ですが、忘れてはならない歴史として少し詳しく説明をします。「阪神淡路大震災」は1995年（平成7年）1月17日5時46分52秒に兵庫県の淡路島北部（あるいは神戸市垂水区）沖の明石海峡（北緯34度35.9分、東経135度2.1分、深さ16km）を震源として、マグニチュード7.3の震度で起こった兵庫県南部地震のことです。近畿圏の広域が大きな被害を受けました。特に震源に近い神戸市の市街地（東灘区、灘区、中央区（三宮・元町・ポートアイランド）、兵庫区、長田区、須磨区）の被害は甚大で、近代都市での災害として日本国内のみならず、世界中に衝撃を与えました。犠牲者は6,434人にも達し、第二次世界大戦後に発生した地震災害としては東日本大震災に次ぐ被害規模でした。校長先生は当時、大阪の南の方に住んでいましたが、大きな揺れで目を覚ました。何かが落ちてきたのかと思うぐらいの衝撃、何をどうしていいかわからず、しばらく布団からも出れず、揺れが収まるのを待つしかありませんでした。今もあの瞬間のことははっきりと覚えています。

昨日、神戸市中央区の公園「東遊園地」では、犠牲者を追悼するおよそ5000本の竹と紙の灯籠が、震災が起きた日付の「1.17」と「忘れない」ということばの漢字の形に並べられました。この文字には、震災から27年がたち「忘れてしまわないように」という思いや、思い出すのがつらく「忘れない」人たちの思い、そして「忘れられてしまう」といった危機感など、さまざまな意味が込められています。そんな思いを当時を知らないみんなにも少しでも感じてほしいと思っています。16日にはトンガ沖噴火により日本にも津波が発生しました。オミクロン株による感染拡大もあり、君たちには苦しく、不安な思いばかりさせてしまいますが、だからこそ、みんなには間違った情報に左右されないように、正確な情報を正確に判断し、正確に行動できるようになってほしいと心から願っています。

学校休業中も規則正しい生活で時間を大切に過ごしてください。